

まらり 看護学生

2022年 10 11 月号



- 02・03 | 看護の現場より — 田中 美佳さん(東神戸病院)
04・05 | 夏休み ナーシングセミナー(インターンシップ実習)
06 | 私の出会った患者さん — 山田 菜月さん(共立病院)

- 07 | 知ろう 学ぼう 平和と命
第19回 ENS 報告
08 | ほっとStation

看護の現場より

看護学生みなさんに、私たちが日々看護を
実践している現場での奮闘ぶりや、看護に
対する熱い思いをシリーズで紹介します。

その人らしさを 支えるために

東神戸病院 一般病棟
田中 美佳さん



■ 私の職場とは

東神戸病院は現在、一般・回復期リハビリテーション・緩和ケア・コロナの4つの病棟で構成されています。

私の働いている一般病棟は、基幹病院で急性



「リハビリに行きましょ〜」

期の治療を終えたけれども、もう少し治療の継続が必要な方や自宅に帰るためのリハビリが必要な方のケアを行っています。また、当院かかりつけの患者さんの病状悪化の際の治療など、さまざまな方が入院されます。

一般病棟は予約入院だけでなく、救急搬送されてきた患者さんの入院もあります。現在コロナ下での入院はPCR検査・抗原検査を受けてから入院となっています。PCR検査は結果が出るまでに時間がかかるため、発熱がある患者さんや肺炎での入院の患者さんはコロナかもしれないと想定し、検査結果が出るまで隔離・フルPPEで対応したりとバタバタすることもあります。スタッフ間で助け合いながら対応しています。

■ 思いを大切に…

私たちの病棟では退院支援に力を入れており、患者さんご家族の思いを大切に意思の確認をしています。患者さんご家族の意思を早い段階で確認し、相違はないか、自宅に帰りたいと希望されている患者さんに自宅で介護してくれる方がいる



「次はおかゆです。どうぞー」

のか、どれくらい動けたら自宅でも生活できると考えているのかななどを聞いています。

また、当院は地域に根差した看護を目指しているため、在宅との連携も大切にしています。自宅に帰るためリハビリを頑張った患者さんが、自宅で生活するにあたり不便はないか、転倒リスクはないか、実際に患者さんの家に一緒に行き、家の中の動きを見たりすることもあります。

直接その人の生活を知ること、可能な限り患者さん・ご家族の意思を尊重しつつ、これからの生活を考え、一番良い選択ができるようにサポートしています。

その人らしく生活するためには、どんなサービスが必要なのか、自宅での生活が難しく施設入所を考えている方はどのような施設が良いのかなどを患者さんと一緒に考えていきます。



カンファレンスの様子

■ まとめ

コロナにより情報収集など大変になったことも多く、すべての人の希望に沿った支援ができることは限りません。

その中でも患者さん・ご家族の意思を尊重し、一番良い生活を考え、サポートできるように心がけています。そのために看護師だけでなく多職種とも協力しながら日々頑張っています。

夏休み ナーシングセミナー (インターンシップ実習)

毎年、兵庫民医連で行っているナーシングセミナーは、「低学年から患者さんと触れ合える」「現場の看護師にいろいろ質問できる」「働くイメージづくりができる」と毎年好評です☆
今年、2年ぶりに時間短縮バージョンで開催することができましたので、一部をご紹介します。

尼崎医療生協病院

Date : 7/27(水)
Time : 9:30~11:00
Place : 地域包括ケア病棟

体験できたこと

- 朝のバイタルチェック (呼吸音・腹部の聴診)
- 点滴の見学
- 情報のとり方
- 優先順位についてのアドバイス

感想

地域包括ケア病棟ということで、多職種の方が集まって話し合いや情報の共有がされていました。また、重症患者さんも多いとのことで、看護助手の方も他の病棟より多く、多職種の協力体制が必要であると感じました。患者さんへの声掛けや対応が、見ていて暖かみを感じ、寄り添っている様子がとてもかっこよくて、私自身も真似したいと思いました。業務内容や看護師の動き方など、働きだしてから具体的に必要となることも教えて頂きました。質問もしやすく充実した時間でした。
専門学校3年生 K・Aさん



先輩看護師からのメッセージ

患者さんとの関わりで、看護師の大変さだけでなく、やりがいも肌で感じる事ができたのではないかと思います。業務をスムーズに進めていくために、今回は看護技術だけでなく、情報のとり方や優先順位についても説明をさせていただきました。是非働きだしたときに思い出してもらえたらと思います。(私も看護学生の頃を思い出しながら一緒に楽しく行うことができました！)

地域包括ケア病棟 田中



神戸協同病院

Date : 8/12(金)
Time : 13:30~15:30
Place : 緩和ケア病棟

体験できたこと

- オムツ交換
- コミュニケーションを取りながら患者さんの背中をさする
- ゼリー介助見学
- 麻薬の取り扱いの見学



感想

緩和ケア病棟では、1人の患者さんに対して1人の看護師が担当を受け持つ関わることができるので、観察・傾聴・共感することに時間をかけることができると感じました。病棟は個室で、部屋も一人ひとり違った配置で、写真が飾ってあったりしてよい雰囲気でした。患者さんの背中をさすることが気持ちを楽しめるということを知り、寄り添う看護の大切さを知りました。また、担当していた患者さんが亡くなった後に行うデスカンファレンスは、生前の患者さんへの看護についてスタッフ同士でよかったことなどを話し合うことで、看護師のストレス発散になっていると知り、働く看護師のケアもしていきやすい環境だと思いました。
専門学校3年生 N・Kさん

先輩看護師からのメッセージ

短い時間の中でいろいろと緩和ケア病棟のことを学んでくれたようでうれしく思います。いつか緩和ケア病棟と一緒に働けることを楽しみにしています。これからも実習など大変だと思いますが、体調には気を付けて頑張ってくださいね。応援しています！
緩和ケア病棟 久保



感想

人工呼吸器を装着している患者さんへの看護援助の場面は、自習でも見学したことがなく、実施前に口腔ケアを行い、吸引までして清潔にしたうえで実施することなど、学んだことが実際に見学でき勉強になりました。また、お金のあるなしに関係なく医療を受けることができる「いのちの平等」という理念は、地域でいろいろな事情を抱えて生活している方の健康を支える上で素晴らしいと思いました。
専門学校3年生 M・Kさん

先輩看護師からのメッセージ

将来は生活の視点を持った看護師になりたい、としっかりとした目標を持っていたのが素敵だなと思いました。また、いのちの平等の理念に共感してくれたことをうれしく思います。将来ぜひ地域で活躍できる看護師として頑張ってください。
透析室 森本



Date : 8/16(火)
Time : 9:30~11:30
Place : 内科急性期病棟

体験できたこと

- 検査のある患者さんの移送
- 人工呼吸器の方の経管栄養見学



私の出会った患者さん



姫路医療生活協同組合
共立病院

山田 菜月さん



【患者さん紹介】

A氏：50歳代 男性 性格：几帳面 喫煙：20本/日
診断名：糖尿病 既往歴：高血圧
家族構成：高年齢の母と2人暮らし
職業：無職 元々は現場仕事であったが、病影の影響があったのか、体調を崩し退職。母親も高年齢であり無職のため生活保護となっている。

入院までの経過

A氏は外来通院で高血圧治療を行っていましたが、受診時採血にて血糖値300以上、HbA1c11.4と高値であり糖尿病の診断にて入院となりました。

入院経過

入院時A氏は、口渇・多飲・多尿・末梢の痺れなど高血糖症状が著明に現れている状態でした。治療食・食前血糖値200以上にてインスリン注射開始。入院4日目ぐらいから徐々に症状が改善されていっていることを自覚し始めました。内服治療も追加となり血糖値は100台まで改善し17日目退院となりました。

看護の実際

A氏は既往に高血圧があり、糖尿病も含め「生活習慣病」ということで、A氏的生活習慣についての情報収集を行いました。

- 運動→無職で家に引きこもっていることが多く、運動はほとんどしていない。
- 食事→母親の味付けを好まないことから、食生活は別々。自炊をすることはほとんどなく、朝は菓子パンか、バターたっぷりの食パン2枚、甘いカフェオレ。昼は焼きそばやうどんなど。夜は惣菜(揚げ物が多い)と、どんぶり茶碗にご飯1杯。間食に、菓子パンやスナック菓子、カフェオレ10杯/日。
- 薬物→入院前は自己中断あり、入院中は1度だけが過剰服薬あり。

(3大療法に沿った指導内容)

- *運動はリハビリスタッフと相談して、散歩などに加えて、部屋でできるダンベル運動を提案しました。
- *食事に関しては、栄養指導に同席。カット野菜1袋は摂取。菓子パンを惣菜パンに替える、食パンは1枚に



糖尿病3大療法の指導プログラム

して、目玉焼きやヨーグルトをつける、焼きそばなどは野菜を多くする、カロリー表示を確認する。「食べるのは駄目!」ではなく、内容を変えていくことを提案しました。

- *薬は薬ケースを使用して、一目で飲み忘れや、飲み過ぎを確認できるものを提案しました。

おわりに

A氏の糖尿病の原因は、明らかに運動不足と、食生活にあると考えられました。原因がわかっても、その生活を一気に変えていくことは、決して容易なことではなく、逆にそのことが大きなストレスになってしまうことも考えられました。A氏はメモをとったり、質問をしたり、真面目に糖尿病の知識について学び、「しっかりと治療しようと思っている」という言葉も聞きました。退院後も継続していけるよう「退院後の運動・食事・内服管理プログラム」を作成し指導しました。退院後40日目、HbA1c8.4にまで改善がみられました。

個別性のある内容を考え指導をすることは、退院後の生活にも良い影響があったので、今後も頑張ろうと思いました。

知ろう 学ぼう 平和と命

第19回 ENS(近畿看護学生ゼミナール) 8月20日 オンライン開催

看護学生、
看護師などの職員
合わせて119名の
参加でした

今年のENSでは、フォトジャーナリストの森住^{たかし}卓氏を講師に、「平和と命」をテーマに学習しました。森住氏が戦地で撮り続けてこられたイラク・湾岸戦争での写真から伝わってくる強烈なメッセージを受け止め、将来医療従事者となるものとして考えたこと、それ以前に一人の人間として感じたこと…など、参加者一人ひとりが深く真剣に考えました。そして、今回の学びから「私たちにできることは何だろう」と、グループディスカッションで意見交流をしました。



看護学生の感想

写真は事実であり、心が動かされる痛ましい状況を知り、自分に来ることが何かを真剣に考えるきっかけとなりました。

戦争によって環境汚染や被害者である子どもたち、兵士の自殺者の増加、金銭的な問題など、様々な側面から戦争についてとらえることができ、改めて戦争はいいことがないと感じました。

戦争で思うように生活できていなくても、学校に行き勉強したいという思いがあったり、子どもたちの明るい笑顔が印象に残りました。

私たちにできること

シンプルでもいいので、命をなくす戦争はダメ。と発信する。

募金をすることでワクチン一つにつながると思いました。

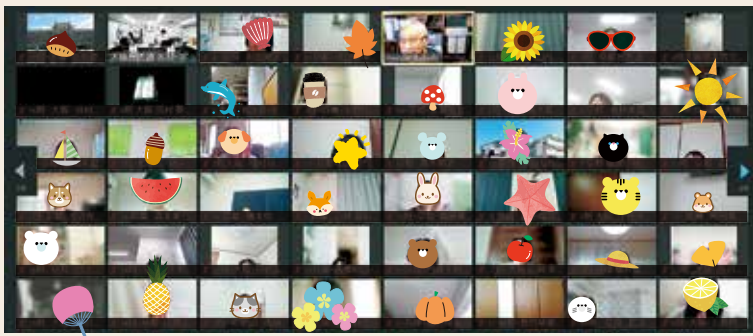
今できることは、看護師になるための勉強をすること、そして勉強できるという環境・社会に感謝して今ある幸せに感謝しつつ、この気持ちを次は私が誰かを助ける力に変えていきたいと思っています。

選挙に行ったり署名活動に協力したりすることで、小さい意見ですが世の中は変わると思っています。

看護の視点から平和への学びをより深めて、これから看護師を目指す中でも、人との接し方などにも活かしていきたいと思っています。

ロシアがウクライナへ軍事侵攻を開始して半年以上が経った今、改めて戦争で犠牲になるのは何の罪もない市民や子どもたちであることを痛感し、現在もこの地球上で戦争が行われていることに大きな憤りを感じました。

私たち民医連は、「人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります」という理念を掲げています。いのちを守るものとして平和であることは大前提で、病気になっても怪我をしても安心して治療ができること、そんな患者さんを看護できるのも平和であってこそなのだ、ということも、生々しい写真から強烈に感じたことでした。



世界各地では戦争止めろ、ウクライナに平和を！の声は今でも大きく広がっています。「私たちにできることはなんだろう？」みなさんもぜひ、この機会に考えてみてくださいね。

※森住卓氏のホームページにたくさんの写真とともに解説が掲載されています。興味のある方は調べてみてくださいね。



読者の声

みなさんのお待ちをしております。



初めての実習がはじまります。楽しみ半分不安半分です。(大学生)

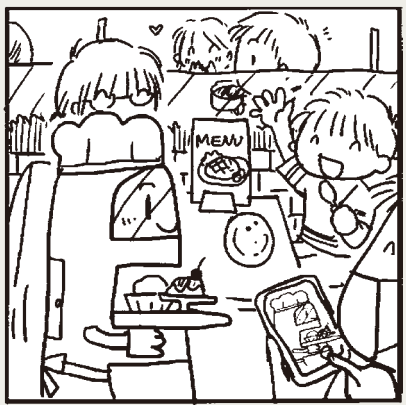
そうですね。私も最初の患者さんの出会いは今も忘れない思い出です。たくさん学びや感じることもあると思います！頑張って来てね！

半年間の実習がいよいよ始まることに楽しみと不安を感じています。多く学び、成長できる実習にしたいと思います。(大学生 チーズ)

実習中は、多くの課題などがありきつと辛いこともあるとは思いますが、「成長できる機会だ！」というその気持ちを忘れずにいつてらっしゃい!! 応援しています!!

看護師さんたちが食べている腹持ちのいい食事やお菓子が知りたいです。(大学生 藻)

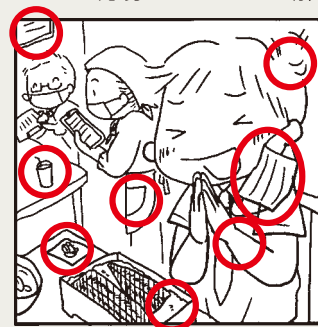
早く食べれるものを考えて選んでいます！チョコレートが多いです！



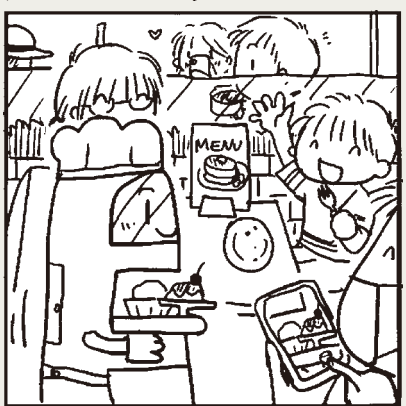
8つのまちがい

【問題】上の絵と下の絵では8つのまちがいがあります！どこでしょう？

同封の返信ハガキに答えを書いて応募してください。応募いただいた正解者に抽選で図書カードをプレゼント！**11月11日(金)必着**。当選の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



↑前回のまちがいさがしの答え



編集後記
 マイブームを紹介します。欲しいもの、いいな~と思うもの、色々ありませんか。でも「今は特に必要ない、けどやっぱり欲しい！」なんてこと。私はめちゃくちゃあります。そんな時の対処法は、欲しいものの絵を書く。下手でもいいんです。とり合えずちっさ~くノートの端っこにでも書いてみてください。なんだか、手に入れたような満足感がやってきます。それを書き集めると、「あんなにも欲しいと思っていたのに忘れてた」と見返せます。結局は必要ないのに欲しい！と思っていた自分の気持ちに気づくこともできます。笑 節約の秋 そんな秋もいいかもね♪ (K)